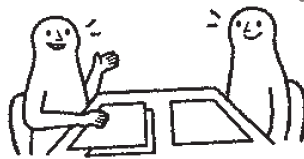


募集

第50回

初心者OK
普段着でOK
ひとりでもOK

議員と 語りかい



市民の皆さんに親しみやすく、透明性のある議会にするために、議員と市民の自由な情報交換を目的として開催しています。

自治会公募型

募集期限 6月30日(月)

地域の課題や身近な問題など、各自治会が決めたテーマで意見交換を行います。

対象 市内の地区自治公民館や自治会

開催日 8/4月～6水 のいずれかの日

時間 1時間30分程度

問い合わせ、申込み

議会事務局

0995 064-0922 FAX 0995 064-0923
gikai@city-kirishima.jp



状況によっては開催を中止する場合があります。

報告

第48回 議員と語りかい

1月22日から24日に「地域テーマ型」で開催し、65名の参加がありました。貴重なご意見ありがとうございました。ご意見を一部ご紹介いたします。



開催報告はこちら

隼人 地区

どうする伝統・文化の継承

- ・地元の歴史を知らない人が増えてきた。
- ・後継者不足、資金不足の中、地域の伝統をどう守るか。
- ・子どもの頃から地域伝統行事を学習する機会があるとよい。

溝辺 地区

どうする水資源

- ・竹子共生会の簡易水道は、整備から50年以上がたち、今後は施設の老朽化で維持管理に多額の費用が見込まれ、継続的運営が厳しい。
- ・災害時の水の確保策として防災井戸などを検討してほしい。

牧園・霧島 地区

どうする温泉資源

- ・温泉資源の価値が十分に活用されておらず、もったいない。
- ・排熱を利用した小規模発電の技術開発や導入について、霧島市でも規制緩和が必要ではないか。

横川 地区

どうする駅周辺

- ・人が来ても、1時間程度しか滞在しない。
- ・交流人口を増やすために、各団体や地域との綿密な連携が必要ではないか。
- ・丸岡公園と駅をつなぐバスなどを運行できないか。

福山 地区

どうする福山のまち

- ・サルによる農作物への被害が甚大である。箱罟を増やせないか。
- ・海や山などの自然環境が魅力で移住した。福山のような中山間地域も住みやすいので、もっとアピールしたい。



福山地区(旧田中家別邸)での議員と語りかいの様子



広瀬干拓と国分海岸の 長寿命化を急げ

有村 隆志 議員

問 近年の大雨の際、雨水が国道10号を横断し、広瀬の干拓地の排水路へ一気に流れ込みあふれる状況が発生している。排水機能強化の対策を急ぐべきではないか。

答 広瀬の干拓地は、昭和45年から56年に県営ほ場整備事業で整備された。しかし、近年の土地利用や気象の変化により排水路への雨水流入が増加している。排水機能強化の必要性について調査していく。

問 国分海岸の防波堤の点検および長寿命化の整備を進めるべきではないか。

答 県への確認では、国分海岸の堤防は、昭和26年のルース台風による決壊後、昭和38年から49年にかけて国の直轄事業などで改修された。老朽化が進んでいるため、令和3年度に点検を実施し、令和6年度に設計業務を委託、令和7年度から計画的に補修工事を実施予定とのことである。

その他の質問
・休校施設の整備について



松永用水改修記念碑
(国分野口)



一般質問・質疑力向上研修

一般質問とは、議員が、市の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを市長などの執行機関に直接質すことです。
令和6年度、霧島市議会では、法政大学の土山希美枝教授をお招きし、全4回の研修を行いました。

一般質問の内容について、議員全員の視点から、ディスカッションやアドバイスを加えることによって、個々の質問の内容が向上し、論点がわかりやすくなりました。
今後も、より良い質問を通じて、より効果的な政策を提言できるようにお互いに切磋琢磨してまいります。



全4回の研修を終え、土山先生と

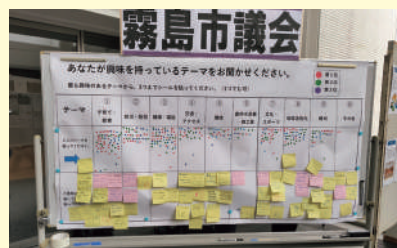


一般質問研修の様子

健康福祉まつりに市議会ブースを出展

多くの市民に議会と市政に関心を持ってもらうことを目的に、令和7年2月2日(日)に行われた健康福祉まつりで、ブースを出展しました。

- ① シール貼付ボード
 - ② 議会クイズ
 - ③ 議会説明スライド
 - ④ スタンプラリー
 - ⑤ よろず相談
- 特に、シール貼付ボードでは、興味のあるテーマに1位～3位の順位でシールを貼り、イメージした課題や想いを付箋で貼ってもらいました。
- これからも、さらに多様な市民の皆様の声を市政に反映させていただきます。



130名ほどがシールを貼ってくれました

